



童謡遊戯について

戸 倉 ハ ル

前數號にわたつて、童謡遊戯についていろいろ述べさせていただきました。こんどは實際指導に當つて、これをどう取扱つかつたら、興味もあり、價値も多からうかといろ／＼考へなければならぬことを申し上げて見たいと思ひます。

本科指導上の注意としては、先ごろ文部省から發布された學校體操教授項目の解説書に明かに次のやうに示されてをりますから、どなたも御承知のことゝ存じますが、どこまでも子供の心境に合つたものを、合つたやうに取扱はなければならぬと存じます。

唱歌遊戯は、生徒、兒童の自然の活動性に適應して、唱歌に伴なふ表現的動作に依り、全身の

發育と健康とを助長し、快活な精神を養ふのを、要旨とする。それ故に、教授するに當つては、兒童の自然性を尊重して、自然的に行はせるやうに注意し、技術の末に拘泥して、その活動を制限しないやうに心懸けなければならぬ。」と然るに最近其の内容を見るにあまりに形式的に流れてゐはしまいか、また、あまりに客觀的ではあるまいかなど、考へさせられます。大人の主觀からわり出された表現や、劃一的の指導は大に考へなければならぬと思はれます。

左に一例を示して御參考に供します。題材として取りました「紅緒のポックリ」は拙著唱歌遊戯に御座いますから、同書を御參考下されば幸と存

じます。

紅緒のポツクリ

中村雨紅 作歌

井上武士 作曲

戸倉ハル 振

一、歌

紅緒のポツクリ、よいかつこ

歩けばチンリン、鈴が鳴る。

駆ければポツクリ、音がする。

チンリン、ポツクリ、うれしいな。

紅緒のポツクリ、チンコロロ。

履いたらお客に、いきませうか。

チンリンコロロといきませうか。

紅緒のポツクリ、うれしいな。

二、準備

一列圓形の両手間隔に並び、一、二の番號をつける。

三、振

前奏十六呼間

互に手を繋ぎ、左足を側に出し、右足を軽く蹴り上げる。次に右足を側に出し、左足を軽く蹴り上げる。かくして、左右交互に同じ動作を繰り返す。

紅緒のポツクリ、よいかつこ。

紅緒のポツクリ、

體前で軽く拍手し、右手を前上に、左手を後下に伸ばし後に上げ、嬉しさうに紅緒のポツクリを見る。次に左手を前上に、右手を後下に伸ばして、前の動作を繰り返す、

よいかつこ。

體前で拍手しながら、其の場で軽く足踏する。

歩けばチンリン鈴が鳴る。

歩けば、

両手を腰に取り、左足を前に踏み出し、右足

の踵を上げる。

チンリン

右足を前に踏み出し、前と同じ動作をする。

鈴が鳴る。

両手を腰に取つたまま、右足から二歩後退する。

駈ければポツクリ、音がする。

駈ければ

両手を腰に取つたまま、左足をボンと踏む。

ポツクリ

右足で前と同じ動作をする。

音がする。

両手を腰に取り、両足で二回上方に跳び上る。

チンリンポツクリ、うれしいな。

チンリン

両手を腰に取つたまま、左足でボンと軽く踏む。

ポツクリうれしいな。

體前で拍手しながら、其の場で右へ一廻りする。

後奏十六呼間

前奏十六呼間の動作に同じ。

紅緒のポツクリ、チンコロロ。

紅緒のポツクリ、

前の、「紅緒のポツクリ」に同じ。

チンコロロ

體前で拍手しながら、一、二番生互に向き合

ふ。

履いたらお客に、いきませうか。

互に左を通つて、前の、「歩けばチンリン鈴が

鳴る。」の動作をする。

チンリンコロロと、いきませうか。

一、二番生連手して、右へ一廻りする。

紅緒のポツクリ、うれしいな。

紅緒の

左足でボンと軽く踏み。

ポックリうれしいな。

體前で拍手しながら、其の場で右へ一廻りする。

後奏十六呼間

二呼間

(イ) 一、二番生互に手を繋ぎ、左足を斜前に出す。

(ロ) 左足を右足につける。

二呼間

水雞歩で二歩前進する

四呼間

右足で前の四呼間の動作を繰り返す。

八呼間

前の八呼間の動作を再び繰り返す。

幼稚園後期尋一、二、第三學期自至第一、三週

指導案

題材、紅緒のポックリ

目的、童謡遊戯「紅緒のポックリ」を授け、お正月の氣分を歌ひ出した豊かな感情を一層

培養陶冶せんとする。

区分、第一時 第一歌詞

第二時 第二歌詞

第三時以後 第一、二歌詞總練習

方法

A 準備運動

一、駈足及駈足間の諸動作。(密集隊形)

二、行進。(行進曲に合して)一列圓形

三、臂の廻旋。臂側下伸

四、歩法練習。

五、唱歌練習。

第一歌詞復習。

第二歌詞復習。

批正指導。(各小節毎に)

B 主運動

一、歌詞の内容説明

- (1) 問答に依つて内容吟味
- (2) 表現的情緒を誘導して内容の高潮につとむ。

二、模倣形式に依つて動作指導

第一歌詞

(1) 教師示範

- (イ) 兒童は手拍子にて第一歌詞を歌ふ。
- (ロ) 教師は諸模範を示して、兒童の表現的情緒を喚起せしむ。

(2) 要點指導

- (イ) 各自の感想を發表せしめて指導
- (ロ) 着想と動作の觀察を指導
- (3) 一小節宛模倣形式にて指導
- (4) 練習指導

三、共學的指導

第二歌詞

- (1) 歌詞の内容考察と共に共學的方策を立てて一小節宛動作を構成す。

(2) 兒童の動作觀察

半數若しくは、四分の一位宛動作と唱歌とを交互に行ひ、互に觀察せしめて相互批評す。

(3) 共同練習、批評指導

四、鑑賞眼の養成指導

教師示範

- (イ) 第一、二節の動作示範
- (ロ) 各兒童手拍子をしながら合唱
- (ハ) 自己反省を促して指導材料になす。

五、總練習

一列圓形にて實演

- (イ) 個人的指導
- (ロ) 部分的指導
- (ハ) 總體的指導

C 整理運動

一、行進(行進曲に合して)

二、舉踵(手腰直立)

三、臂側舉(直立)